観察した鳥類チェックリスト

★キジ目	★ツル目	★ハヤブサ目	□ ツグミ
・キジ科	□ クイナ	・ハヤブサ科	□ ジョウビタキ
□ キジ	□ バン	□ チョウゲンボウ	・スズメ科
★カモ目	□ オオバン	□ ハヤブサ	□ スズメ
カモ科	★チドリ目	★スズメ目	・セキレイ科
□ コブハクチョウ	・チドリ科	・モズ科	□ キセキレイ
□ オカヨシガモ	□ タゲリ	□ モズ	□ ハクセキレイ
□ ヨシガモ	□ ムナグロ	・カラス科	□ セグロセキレイ
□ ヒドリガモ	□ コチドリ	□ カケス	□ タヒバリ
□ マガモ	セイタカシギ科	□ オナガ	・アトリ科
□ カルガモ	□ セイタカシギ	□ ハシボソガラス	ロ カワラヒワ
□ ハシビロガモ	・シギ科	□ ハシブトガラス	□ アトリ
□ オナガガモ	□ タシギ	・シジュウカラ科	ロウソ
□ コガモ	□ イソシギ	□ ヤマガラ	ロ シメ
□ ホシハジロ	·タマシギ科	□ シジュウカラ	□ コイカル
□ キンクロハジロ	□ タマシギ	・ヒバリ科	・ホオジロ科
□ ミコアイサ	・ カモメ科	□ ヒバリ	□ ホオジロ
★カイツブリ目	□ ユリカモメ	ツバメ科	□ カシラダカ
・カイツブリ科	□ セグロカモメ	□ ツバメ	ロ アオジ
□ カイツブリ	□ オオセグロカモメ	・ヒヨドリ科	ロ オオジュリン
□ カンムリカイツブリ	★タカ目	□ ヒヨドリ	
□ ミミカイツブリ	・ミサゴ科	ウグイス科	
□ ハジロカイツブリ	□ ミサゴ	□ ウグイス	
★ハト目	タカ科	・エナガ科	
・ハト科	ロトビ	□ エナガ	
□ キジバト	□ チュウヒ	・メジロ科	
★カツオドリ目	ロッミ	□ メジロ	(外来種や家禽)
□ カワウ	□ ハイタカ	・ヨシキリ科	□ バリケン
★ペリカン目	□ オオタカ	□ オオヨシキリ	□ ガチョウ
サギ科	□ ノスリ	セッカ科	□ アヒル
□ ヨシゴイ	★ブッポウソウ目	□ セッカ	□ ドバト
□ ゴイサギ	・カワセミ科	・ムクドリ科	
□ アマサギ	□ カワセミ	□ ムクドリ	
□ アオサギ	★キツツキ目	・ヒタキ科	
□ ダイサギ	・キツツキ科	ロ シロハラ	
□ チュウサギ	□ コゲラ	ロ アカハラ	
□ コサギ			

鳥の博物館手賀沼定例探鳥会

もっと知りたいカモのこと

案内人:蒲田知子(鳥の博物館市民スタッフ)





▲成長したヒナを連れたカルガモの雌成鳥(右手前)。 カルガモは手賀沼周辺で繁殖する唯一のカモのなかまです。

カモのなかまは最も身近に見られる水鳥で、自然観察 の入門にはぴったりです。今回は、1年中見られるカモ であるカルガモの生態やくらしぶりについて掘り下げて 観察してみましょう。

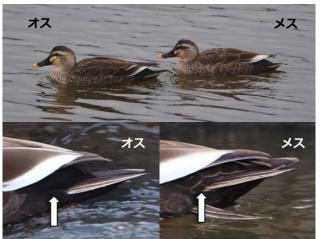
カルガモってどんなカモ?

今日の主役、カルガモは、他のカモのメスに似ていますが、黒い嘴の先端に黄色い斑があることが分かりやすい特徴です。1年中見られますが、手賀沼では冬に数が増えるので、他の地域から渡ってくるものも多くいます。昼間は沼や池で主に休息し、夜になると水田などの浅い水辺に移動して餌を食べます。



カルガモのオスとメス

冬にはカモの仲間の多くは、オスが派手に、メスは地味な羽色ですが、カルガモではオスとメスの違いはごくわずかです。大きさのちがいや、尾羽の付け根の羽の色に注目して見分けてみましょう。



オスの方が大きく、 全体的な羽の色が 黒っぽい

尾羽の付け根の羽 (上尾筒)は オスは真っ黒だが、 メスは羽の縁が淡色

てがたんコースで見られる冬鳥

関東地方の平地では、鳥の種数と数は冬に最も多くなります。 1月の手賀沼周辺では、多くの冬鳥たちが揃って観察しやすい シーズンです。

■ 見られた鳥にチェックしましょう





